

愛知県 看護協会だより

vol.133
WINTER
2018

特集 地区支部再編 平成30年4月から

- | | | | |
|----|---|------|-------------------------------------|
| 01 | 新年のご挨拶 | 06 | 会員施設代表者会議に参加して |
| 02 | 特集 地区支部再編 | 07 | ホッとくらべ&ホッとくらべ日常
シリーズ委員会紹介 |
| 03 | 平成29年度愛知県看護研究学会開催 | 08 | 表彰受賞者の紹介
平成29年度愛知県看護協会外部発表の実績です！ |
| 04 | 保健師・助産師職能委員会交流会に参加して
災害支援ナース派遣調整合同訓練 | 9-10 | ナースセンターニュース |
| 05 | 選挙公報
マンスリーニュース | 11 | 理事会報告／お知らせ |



健康であること、
幸福であること、
そのための看護。

公益社団法人 愛知県看護協会



新年のご挨拶

会長
鈴木正子



新年あけましておめでとうございます。

皆様には健やかに新年をお迎えのことと思います。

新年を迎えるに当たり、今年度までの事業を眺めますと、私たち職能団体のなすべき活動は「知ること」と「知らせること」の2つに帰着するのではと感じます。文字では、簡単で造作ないことに見えますが、正しく「知ること」、正確に「知らせる」ことはそんなに容易なことではありません。

正しく「知ること」には、社会情勢に鑑み今必要な情報は何かを特定し、その情報の存在（場所、人）をつかみ、入手する機会（訪問、聴取）を設けることが必要です。正確に物事を認識するため技術も磨かねばなりません。

一方、情報を会員はじめ社会に正しく、わかりやすく「知らせる」にも、周到な準備が必要です。情報を最も必要とする対象者と、知らせる知識と技術を持つ人材をそれぞれ選定しなければなりません。

平成30年度の重点事業の中にも、「知ること」ために、地域や行政を対象に「交流会」「学習会」を多く企画しています。看護管理者の育成に取り組み、管理の基本である「見えないものを見るようにする」技術も修練します。「知らせる」については、協会の大きな事業である「看護職への研修」を、日本看護協会のクリニカルラダーを取り入れ、充実させていきます。

構築が急がれる地域包括ケアシステムについても、看護職の果たす役割を考えあぐねている地域の看護管理者に、これから万全の体制を整えてもらうため、協会には常に情報を得て、咀嚼し、対応策を提案することが求められます。

本年も、協会の使命を果たすべく、これらのことについて愚直に取り組んで参ります。皆様のご健康とご多幸を祈りますとともに、本年も愛知県看護協会に一層のご支援、ご協力を頂きますようよろしくお願い申し上げます。



地区支部再編

平成30年
4月から

地区割りを
変更
します



2025年に向けて国・県は地域医療構想を策定し、地域包括ケアシステムを構築するための事業を進めています。平成30年3月には愛知県地域保健医療計画を見直し、新たな第7次医療計画を策定予定です。

これまでの地区支部は、規約に基づき地域住民の健康及び福祉の増進、看護職の質向上等に寄与することを目的に愛知県7地区支部で活動を推進してきました。「地域住民が住み慣れたところで療養しながら、自分らしく最期まで暮らす」社会を実現するためには、病院施設と地域の看護職、医療と介護の連携にとどまらず行政との連携が重要になってきます。病院・施設の看護職が積極的に地域に出向き、多職種と連携して地域住民の健康の保持増進を図るには、市町村単位で活動を推進していくことが必要です。それにより地区支部活動がより一層強化し、看護職として地域包括ケアシステムの構築を推進できると考えます。

こういった背景をふまえ、地区支部の地区割りを二次医療圏を考慮した地区割りに変更します。平成30年度の活動では、地域で看護職・多職種との交流会を開催することや、支部長を中心とした検討会が開催されることを期待します。看護協会として支援体制を整備すると共に、再編後の地区支部活動をより一層推進していきたいと考えています。どうぞよろしくお願ひいたします。

常務理事 高木仁美

10 地区 支部 での 地区 割り	名古屋地区	名古屋市 清須市 北名古屋市 豊山町
	尾張西部地区	一宮市 稲沢市
	尾張北部地区	春日井市 犬山市 江南市 小牧市 岩倉市 大口町 扶桑町
	尾張東部地区	瀬戸市 尾張旭市 長久手市 日進市 豊明市 東郷町
	海部地区	津島市 あま市 愛西市 弥富市 大治町 蟹江町 飛島村
	知多半島地区	半田市 常滑市 東海市 大府市 知多市 阿久比町 武豊町 東浦町 南知多町 美浜町
	西三河北部地区	豊田市 みよし市
	西三河南部西地区	碧南市 刈谷市 安城市 西尾市 知立市 高浜市
	西三河南部東地区	岡崎市 幸田町
	東三河地区	豊橋市 豊川市 蒲郡市 新城市 田原市 設楽町 東栄町 豊根村

平成29年度

愛知県看護研究学会開催

特別講演 大人の発達障害～特性の理解と職場での対応～

大人の発達障害をテーマに愛知県心身障害者コロニー中央病院児童精神科医長の吉川徹先生による特別講演がありました。

最近よく耳にする「発達障害」、診断は出来ない人を含めると10人に1人の割合でいるそうです。一言で発達障害といっても、社会的、情緒的やり取りが難しい自閉スペクトラム症や不注意優勢状態、いわゆる何度も失敗を繰り返す注意欠如や多動症など様々です。「次から気を付けるように」は果たして有効か。罰を与えることで失敗を回避することはできるのか。それが部下や上司、同僚、多職種にいたら排除することは解決方法ではない。多少不公平もあるが、不注意をカバーできる業務構築やマニュアル作り。そして、業務に人を合わせることではなく人に業務を合わせることができる余裕のある人材確保で、発達を持つ医療者を支援することが解決策であると結論し、講演を終了しました。

多様性を認める社会において大人の発達障害を理解し知識を得ることで、それぞれの特性を活用できる職場にしたいと思いました。



低気圧の影響で急激に寒さが増した12月12日火曜日、ウインクあいちで「愛知県看護研究学会」が行われました。ここ数年では最も多い40演題の発表と537人の参加者があり、ポスター発表やランチョンセミナーの復活もあり、学会委員の本気と熱気が感じられる研究会でした。

授業の一環として看護学生も大勢参加しており、看護師たちの口演を真剣に聞き入っていたのが印象的でした。学生に感想を尋ねると「学生の研究発表と違い実践的な内容で、患者さんのためになる研究ばかりだった」と興味深く語ってくれました。鈴木正子会長が冒頭挨拶で「明日からの看護に活かせる研究会になる」と述べられたように、日頃の看護実践を共有し、解決の糸口になるような演題が目立ちました。研究に対する倫理的な配慮もされるようになり、ここ数年の「進化」を感じられました。

口演者の一人は、「難しいことは行っていません。自分の看護の振り返りとしてまとめています。発表する機会を得ることでその裏付けとなります。」と発言されました。業務に追われる臨床現場では、看護研究を負担に感じたり、難しいと避けて通りたい気持ちになることもありますが、まずは身近な事象に目を向けることで、看護にやりがいを見出せる機会になると思いました。すべては患者さんのためと、あらためて看護研究に意義を感じた一日でした。

最後に田辺学会委員長は「朝の出勤途中でJR東海道線がストップするといったアクシデントが発生し、時間ぎりぎりに到着できたという発表者もおり、忘れられない学会になりましたが、本当に大勢の方に参加していただいた。来年は600人参加を目指します」と、学会を締めくくりました。

広報委員 小出千加子



保健師・助産師 職能委員会交流会に参加して

テーマ：「妊娠期から子育て期にわたる切れ目ない支援に向けた多職種との協働」
日時：平成29年11月22日（水） 会場：ウインクあいち

保健師・助産師職能委員が主催する交流会が標記テーマで開催され、91名の参加がありました。交流会は講演、シンポジウム、グループワークの3部構成で行われました。

講師のNPO法人CAPNA（子どもの虐待防止ネットワークあいち）理事長の萬屋育子氏からは、赤ちゃん縁組（愛知方式）や特別養子縁組の紹介や愛着（アタッチメント）の重要性についての講演がありました。乳幼児期の親子の信頼関係や安定した愛着関係を築くことが児の愛着障害の防止となり、特に生後1年間の愛着（アタッチメント）が重要である。そして、妊娠期から切れ目ない支援のためには①それぞれの地域でできていること、できていないことを把握する②関係機関で情報共有が求められると教示されました。

シンポジウムでは妊産婦を支援する病院勤務の看護師や行政保健師、それぞれの立場から妊娠期から子育て期にわたる切れ目ない支援のために行っている活動や課題について発表がありました。参加者からは自分と異なる職種の支援活動に対する質問が多く、保健医療の情報共有の場となりました。

グループワークは地域毎のグループとなり、地域における多職種連携の課題と解決策をテーマに意見交換をしました。参加者は助産師、保健師、保育士など様々でしたが、どの職種も安心して子育てができるよう母親を支えたいという思いは強く、その思いを共有する場としても有意義な時間でした。

ライフスタイルや成育背景等、母親を取り巻く環境の変化に伴い、妊産婦や母親の負担感が高まっていると言われています。出産後に向けた支援体制を整えるためにも妊娠期からの切れ目ない支援を行うことが重視され、看護職の役割は大きくなっています。

看護職として妊産婦にどのような関わりができるのか、保健・医療・福祉が連携し、地域全体で母子を支えるにはどうしたらよいかと考える機会になりました。

広報委員 田中美帆



講師 藤井 法子氏



講師 朝岡 みゆき氏



講師 岡田 恵子氏



講師 井上 光代氏



講師 萬屋 育子氏

シンポジスト



講 演



災害支援ナース派遣調整合同訓練～被災県としての訓練～

平成29年11月7日（火）～9日（木）



平成29年11月7日午前9時頃震度7の東南海・南海地震が発生

被災想定 今回は南海トラフを想定した訓練で、被災県は静岡、愛知、三重、和歌山、徳島、高知の6県で、死者数・建物倒壊数が多く、沿岸部には最大34mの津波が到達。愛知県は名古屋市、蒲郡市で建物倒壊や火災が発生。交通機関は麻痺、電力、給水等のライフラインも途絶。通信手段は災害時有線電話とFAX、電子メールという想定。



愛知県看護協会は被災県としてはじめて、全国から災害支援ナースを受け入れる訓練を行いました。

訓練には災害支援ナースの登録施設34施設が参加し、発災後それぞれの施設から自施設の被害状況の報告を受けました。その中から最も被害の大きかった蒲郡市民病院、名古屋済会病院、半田市立半田病院から災害支援ナース派遣要請があり、日本看護協会に支援要請をしました。その結果、発災3日後より2週間、全国から268名の災害支援ナースの受け入れ調整が可能となりました。

参加施設からのアンケートでは、被害状況の報告の仕方が理解できた86.2%、災害支援ナース要請方法がわかった72.4%、派遣の一連の流れが理解できた93.1%という回答があり、この訓練の目的は達成されたと考えます。しかし、被害状況が広域であったため、いくつかの課題にも気づきました。大規模災害時には愛知県災害医療対策本部との情報共有が重要になります。現在、訓練で明らかになった課題解決に向け、愛知県との話し合いを進めています。



平成30年度 愛知県看護協会役員等の立候補受付

平成30年度の愛知県看護協会通常総会において、理事24名、監事1名及び推薦委員9名の選挙を行います。
(定款細則14条、15条)

定款細則17条により、立候補の受付を行います。立候補をされる正会員は、所定の手続きにしたがって届け出を行ってください。

立候補の受付

しめ切り: 平成30年4月21日(必着)

選出する役員等

会長1名、副会長2名、専務理事1名、常務理事3名、地区理事10名、保健師職能理事1名、助産師職能理事1名、看護師職能I理事(病院領域)1名、看護師職能II理事(在宅領域)1名、准看護師理事1名、理事2名、監事(業務に精通した看護職)1名、推薦委員9名

平成31年度 日本看護協会代議員及び予備代議員の立候補受付

平成30年度の愛知県看護協会通常総会において、平成31年度 日本看護協会代議員及び予備代議員の選挙を行います。(定款細則13条)

定款細則17条により、立候補の受付を行います。立候補をされる正会員は、所定の手続きにしたがって届け出を行ってください。

立候補の受付

しめ切り: 平成30年4月21日(必着)

(ホームページに様式を掲載しております。)

なお、代議員及び予備代議員の数は、会員数によって割り振られ各々38名を予定しております。

(選挙管理委員長 中富八千代)

協会のこの3ヶ月 マンスリーニュース

Monthly News

※会場の記載のないものは、愛知県看護協会で実施

10月

- 6日(金) 脳卒中リハビリテーション看護認定看護師教育課程 修了式
- 16日(月) 認定看護管理者教育課程セカンドレベル開講式
- 19日(木)20日(金) 東海北陸法人会員会・職能委員長会 岐阜じゅうろくプラザ
- 21日(土) 地域包括ケアシステム実現に向けて～在宅とつなぐ退院支援と多職種連携～交流会 名古屋大学医学部附属病院
- 21日(土)22日(日) チュウキヨ～くんのすこやかフェスタ ガイシホール
- 26日(木) 前期監査
- 30日(月) 地区支部長会議



多職種連携～交流会

11月

- 7日(火)～9日(木) 災害支援ナース派遣調整合同訓練
- 12日(日) 脳卒中リハビリテーション看護・訪問看護認定看護師教育課程入試
- 22日(水) 妊娠期から子育て期にわたる切れ目ない支援に向けた多職種との協働交流会 愛知県産業労働センター(ウインクあいち)
- 24日(金) 第1回会員施設代表者会議



チュウキヨ～くんのすこやかフェスタ

12月

- 1日(金) 認定看護師教育課程セカンドレベル開講式
- 12日(火) 愛知県看護研究学会 愛知県産業労働センター(ウインクあいち)



第1回会員施設代表者会議

平成29年度 第1回 会員施設代表者会議に参加して

日時 平成29年11月24日(金) 講師 兵庫県立大学大学院 経営研究科 筒井 孝子

講演テーマ 病院経営における「重症度、医療・看護必要度」データ活用の実際と課題
-診療・介護報酬同時改定にむけて-



平成30年度は医療・介護報酬同時改定に加え、第7次医療計画、第7期介護保険事業計画の開始などが重なり「惑星直列」などとも呼ばれ、大きく制度が動くと言われています。しかし、どのような姿を現すのかはつきりせず、モヤモヤ感に包まれていました。今回のご講演では、「直近の中医協の議論と医療行政」「看護必要度の開発経緯と診療報酬改定」「医療・看護サービス評価と看護必要度」「看護必要度を看護管理に利用する方法」の4点について、制度改革の中心でご活躍される筒井孝子氏からお話を伺え、中医協や行政から出された資料について自分で読み取れない背景や意図を垣間見ることができたと思います。

今回私は2つのことに心を留めました。1つ目は、重症度、医療・看護必要度の意義はどこにあるか、今一度真剣に捉える必要があるということです。DPCデータへの一

部置き換え案が議論されていますが、重症度、医療・看護必要度のデータはディープデータであり、「看護または医療のプロセス評価である」ということを管理者がしっかり考えなくてはいけないと思いました。2つ目は、自施設と市町村(行政)の連携を更に強化することです。連携には、「linkage(つながり)」「coordination(調整)」「full integration(完全統合)」の3つのレベルがあり、地域医療構想を着実に推進するためには「coordination(調整)」レベルでの連携強化が必要だと学びました。積極的に行政と意思疎通を図り、入院前から退院後の在宅療養までの流れを多職種で創りたいと考えます。

診療報酬改定の内容は厳しいものになるかもしれません、地域で暮らす方々が必要とする医療環境の整備に向け舵を切って行きたいと思います。

公立西知多総合病院 看護部長 植村真美



平成29年度 第2回 会員施設代表者会議に参加して

日時 平成30年1月13日(土)

講師 日本看護協会 会長 福井 トシ子

テーマ 看護の将来ビジョンと看護管理者の役割

講師 愛知県健康福祉部保健医療局 医務課主幹 都築 三幸

テーマ 愛知県における看護対策の現状

講師 愛知県看護協会 会長 鈴木 正子

テーマ 愛知県看護協会の動き—会館整備の検討について—



会員施設代表者会議は、日本看護協会・愛知県看護協会双方のコミュニケーションの場づくりと協会事業の情報提供を目的として毎年この時期に開催されます。今年の参加者は144名でした。

福井会長からは、これから少子超高齢社会を乗り越えていくためには「生活を重視する保健・医療・福祉制度への転換」が必要であり、すべての場において看護職の高い能力が求められる。また、それを実現するためには看護管理者の役割として「人口構造、疾病構造の変化を先取りしたマネジメント」「病院完結型から地域完結型におけるマネジメントの拡張」「看護職集団の力量形成」「看護職個々人の能力強化」「マネジメント力の強化」「看護職のプレゼンスを高める活動」が必要と強調された。

都築主幹からは、愛知県の看護対策を地域医療介護総合確保基金で実施しており「養成と資質の向上」「普及啓発」「再就業の支援と離職防止」について実施内容の報告がされた。

鈴木会長からは、会館整備のアンケート結果報告から整理された課題「建て替えが必要か」「建て替えた場合の時期・方法・資金」について報告された。

看護管理者として目前の問題解決にとらわれがちですが、同時に先を見据えた戦略を立てる必要があり、そのためにも看護管理者の継続的な教育は喫緊の課題であると強く感じました。看護管理者役割5つの具体的な説明時には看護管理者へ「元気」を注入する言葉が折り込まれ、何をどの様に考えどの様に行動すべきかを具体にイメージできました。自身の役割を認識する時間となり次年度の目標に繋げたいと思いました。

講演会終了後は会場をグランコート名古屋へ移動し、福井会長を交えた交流会が行われました。美味しい料理とお酒で会話も弾み、また協会役員によるフラメンコも披露され、管理者同志「顔と顔」を繋ぐヒューマンネットワークの場として大いに盛り上がり、明日からの活力になりました。

広報委員長 鈴木久美子



交流会風景



新企画!

ホッとな看護 & ホッとな日常

身の回りで体験した、「思わずニヤリとしてしまう場面」「温かい気持ちになる出来事」などを募集しています。
是非、皆で一緒にホッとな気持ちになりませんか?

アニマルの力ってすごい!!

緩和医療センターにアニマルが来た!!

入院されている患者さんは毎日が同じ事の繰り返し、どんなニュースや番組を見ても聞いても、自分とは関係ないと、寂しい時の流れの中セラピー犬によって日常とは違う空気と時間が流れ変化が生まれ、残された時間が少ない患者様に「笑顔」「会話」「生きるパワー」を感じた瞬間です。

患者さんの笑顔もうれしいが家族の方の笑顔を見ると少しでも気持ちがほっこりできたかなと、看護師もほっこりうれしかった。

(三河の梨大好き娘)

〔文字数〕300字程度

〔応募方法〕

体験談を記載した文章を封筒にて、愛知県看護協会まで送付または、E-mail: aikan@aiores.ocn.ne.jpへ投稿ください。
※応募頂いた原稿は返却いたしません、E-mailは「ホッとな看護」の件名で送信

楽しむことの力

当院のデイケアでは毎回楽しい驚き、発見がある。Aさんは、腰痛の訴えがあり、体を動かすときは常に表情を歪めている。

ある日輪になって座ってバレーをしていたら、Aさんが真剣な表情でボールを見つめ、椅子から落ちそうな勢いで腕を伸ばしレシーブしている。痛みを忘れて楽しんでいるAさんを見て、「動けるやんか!」って心の中で呟いた。

また認知症のBさんは、何を話しかけても「はい、ありがとうございます」としか言わない。皆で“ふるさと”の合唱をしていたらBさんの口から、「忘れたがたきふるさと~」と歌声が聞こえた。その美声にびっくり、今では合唱のリーダー的存在です。

(中川区 はるきち)

〔送付先〕〒466-0054 名古屋市昭和区円上町26番18号
公益社団法人 愛知県看護協会 広報委員会宛て

〔記入事項〕氏名、施設名、連絡先、匿名希望の方はペンネームなど
投稿頂いた体験談は、広報委員会で選考して
「愛知県看護協会だより」で掲載・広報として活用させて頂きます。

SERIES 委員会紹介

委員会I

看護制度委員会

看護制度委員会の構成メンバーは7人で、保健師、助産師、看護師、准看護師すべての看護職が集まり、将来を見据えた看護制度のあり方について活発にディスカッションし、新しい事業にも積極的に取り組んでいます。

主な活動としては、准看護師制度に関する様々な課題について、長期的な視野で検討し、看護職全体の質の向上に繋がるよう支援を行っています。准看護師制度は昭和26年に戦後の看護師不足を補うためにできた制度ですが、それ以来、医療・看護を取り巻く状況は大きく変化しているにも関わらず、抜本的な見直しがされないまま現在に至っています。

看護制度委員会ではそうした現状から少しでも前進するため、①准看護師のキャリアアップに向け、臨床現場で必要とされる看護に関する研修会の開催、②看護師資格取得に向けた進学支援、③准看護師養成施設への訪問をとおした看護師養成転換への働きかけ及び卒業

予定者への看護協会への入会推奨等、様々な活動を行っています。准看護師の皆さんのがキャリアアップへのビジョンをもち、安全に安心して業務に取り組めるよう、委員の私たちも将来に希望をもって活動しています。准看護師問題は看護職全体の課題です。今後の活動に向けた皆様からのご提案やご意見をお待ちしています。

看護制度委員会 委員長 高口みさき



表彰受賞者の紹介

受章者の皆さま、誠におめでとうございます。



平成29年度 秋の叙勲

瑞宝双光章 伊藤 安恵（看護師）元名古屋掖済会病院
菊地 宏昭（看護師）八事病院

瑞宝单光章 千速由美子（看護師）元あいち小児保健医療総合センター



優良看護職員厚生労働大臣表彰受章

佐久間清美（保健師）名古屋学芸大学
北村ひとみ（助産師）独立行政法人地域医療機能推進機構 中京病院
三浦 昌子（看護師）名古屋大学医学部附属病院 卒後臨床研修・キャリア形成支援センター
眞野 恵子（看護師）藤田保健衛生大学病院
林 芳弘（看護師）医療法人桜桂会福祉施設

平成29年度 愛知県看護協会 外部発表の実績です！

日頃の協会活動を下記の学会で発表しました。

学会名・日付／開催地	発表者	学会名・日付／開催地	発表者
日本看護管理学会 横浜／29.8.19～20	高木 仁美	WFNN (世界脳神経看護学会) クロアチア／29.9.17～21	齊藤 泉
A県内在宅領域における看護師の現任教育の現状 「クリニカルラダー活用の実態と課題」		脳卒中急性期患者の24時間血圧指標を用いた 個別の座位時間の設定による安全な離床方法	
日本看護管理学会 横浜／29.8.19～20	永坂 和子	日本看護学会～看護管理～ 札幌／29.10.12～13	山口 大輔
看護職のWLB推進ワークショップ事業におけるアクションプランの分析		病院における男性看護師の従業状況と役割期待 ～愛知県全域・看護管理責任者への質問紙調査～	
日本ヒューマンヘルスケア学会 名古屋／29.9.30	小島 登美香	日本看護学会～看護管理～ 札幌／29.10.12～13	藤井 仁
認定看護管理者教育課程 ファーストレベル教育の現状と課題		介護保険施設における男性看護師の従業状況と役割期待 ～愛知県全域・看護管理責任者への質問紙調査～	
日本ヒューマンヘルスケア学会 名古屋／29.9.30	江上 菊代	日本看護学会～看護管理～ 札幌／29.10.12～13	藤野 泰平
愛知県ナースセンター10年間の取り組みと今後の方向性		訪問看護ステーションにおける男性看護師の従業状況と役割期待 ～愛知県全域・看護管理責任者への質問紙調査～	
WFNN (世界脳神経看護学会) クロアチア／29.9.17～21	横井 靖子	日本公衆衛生看護学会学術集会 大阪／30.1.6～7	日高 橘子
日本における脳卒中リハビリテーション看護 認定看護師教育課程についての報告		保健師のキャリアラダーに関する 意識・支援ニーズ調査（第1報）	
愛知県看護研究学会 名古屋／29.12.12	内藤 喜久枝		
看護職の介護支援専門員の実態から 見えたもの			

護ります。
支えます。
歩みます。
あなたといつも
一緒に。

ナースセンター ニュース 2018 Winter

ご存知ですか？

愛知県ナースセンターは厚生労働大臣許可の無料職業紹介所です。
看護職の方の就職活動をサポートします！！

お仕事探し・求人募集のことなら…
求人・求職の登録はこちらから



一都道府県看護協会による無料職業紹介事業
★<https://www.nurse-center.net/nccs>



つながり続けるために…
離職届けはお済みですか？

看護師等の届出サイト



★<https://todokerun.nurse-center.net/todokerun/>



就業促進実績

1. 求人・求職者・就職者数

(平成29年8月～11月度)

	8月	9月	10月	11月
求人数	3,681	3,548	3,477	3,512
求職者数	1,066	1,057	1,050	1,030
就職者数	109	89	115	99

2. 届出実績

(平成27年10月～平成29年11月度)

地区別				年代別	
名古屋	1,108	知多	287	~20代	998
海部津島	96	西三河北部	218	30代	1,081
尾張東部	51	西三河南部	498	40代	726
尾張西部	219	東三河北部	8	50代	383
尾張中部	270	東三河南部	294	60代	202
尾張北部	336	未回答	19	70代～	11
計			3,404	不明	3
				計	3,404

最近は、所属長からの勧めで、
ナースセンターにお越し頂く方が増えています。
ありがとうございます!これからも
「つながり」を大切にしていきたいと思います♪
就職の相談、届出制度についての
お問い合わせは、お気軽にどうぞ!!



就職相談

看護職のための就職相談会を開催しました。

日時 9月23日(土) 場所 イオンモール大高(名古屋市緑区)

買い物のついでに、映画鑑賞のついでに、ご家族連れで、お子さま連れで、気軽に立ち寄ってほしい、という思いで企画しました。わたしたちナースセンターは、看護職のため、看護職を目指す方のため、それぞれの思いに寄り添ったサポートをしていきたいと思っています。あなたのお住まいの地域にもお邪魔するかも?!

どうぞ気軽に気楽に、ご相談ください!!



復職支援

「ライセンスを生かし続けるために」をテーマに、看護職復職支援交流会を開催しました。

日時 10月13日(金) 場所 サイプレスガーデンホテル(金山)

「感染対策」について講義と演習を交えて研修を行ないました。ママさんナースのご要望におこたえして、「託児付き」での開催。30名の看護職の方と、かわいい5名のお客さまにご参加いただきました。感染予防の基本から、手洗い方法、個人防護具の着脱テクニックの習得までを実施しました。

その後、お茶を飲みながらナースセンターからのお知らせと質問や意見交換の時間を設けました。



参加者の声

10数年前と違うことが
多々あって勉強になりました

演習があることで、
実際が分かりやすかった

託児がある研修は
なかなかないので、
嬉しいです

施設＆看護学校訪問 インタビュー

顔の見える関係作りを大切に、県内の病院や施設、看護学校を訪問しています。

施設訪問

施設訪問では、看護部のアピールポイントや教育体制、教育計画などを伺いし、求人カードには記載されていない、より細かい情報を聞きし求職者に情報提供しています。また訪問で感じた雰囲気などは、実際にお伺いできたからこそ伝えられるものもあります。

今回は、名古屋市守山区にある「医療法人いつき会 守山いつき病院」を訪問させていただきました。2013年4月、市民病院から民間譲渡により運営を開始、地域住民の皆様に愛される病院運営を目指されている病院です。



看護部長、看護副部長、病棟部長、訪問看護ステーションの管理者にお会いし、それぞれの立場から看護に対する思いをお聞きしました。皆さんが同じ目標に向かって進まれているのがよくわかりました。だからこそやる気のある看護師をたくさん紹介してほしいと熱く語られたのが印象的でした。

看護学校

看護学校を訪問して、看護学生へナースセンターの活動を話し、看護職に就く前から、「何かあつたらナースセンター」へ相談してほしいこと、「届出制度」についてなど具体的なお話をしています。

藤田保健衛生大学医療科学部看護学科への訪問の際、講話後に学生さんにインターをしました…



看護学生の声

看護は素晴らしい仕事なので、ずっと続けて
いくためにナースセンターがあるとわかった

これから先、何か仕事で相談したいことが
あればナースセンターを利用したい

「看護職の資格」は生涯の宝…

「看護職」であり続けるために、ナースセンターはいつもあなたのそばにいます!!

○愛知県ナースセンター

〒466-0054
名古屋市昭和区円上町26番15号
愛知県高辻センター1階
TEL: 052-871-0600 / FAX: 052-883-3686
メール: aichi@nurse-center.net

○名駅支所

〒450-0002
名古屋市中村区名駅4丁目4-38
愛知県産業労働センター（ウインクあいち）17階
TEL: 052-433-1173 / FAX: 052-433-1175
メール: meieki@nurse-center.net

○豊橋支所

〒440-0888
豊橋市駅前大通2丁目33番地の1
開発ビル4階
TEL: 0532-52-1173 / FAX: 0532-52-1166
メール: toyohashi@nurse-center.net



理事会報告

第4回 理事会 平成29年10月30日(月)

協議事項

- ① 平成30年度重点事業(案)について
質疑の後、提案通り承認された。

報告事項

- ① 日本看護協会理事会報告(9月20日開催)
② 全国准看護師制度担当役員会議報告(9月7日開催)
③ 平成29年度愛知県看護協会事業報告(7月~9月)について
④ 平成29年度前期監査報告
⑤ 愛知県知事、自由民主党愛知県支部連合会への
要望書の提出について

第5回 理事会 平成29年12月25日(月)

協議事項

- ① 平成30年度委員会・地区支部事業計画(素案)について
② 特別委員会の見直しについて
③ 納付金の徴収及び謝金の支払に関する取扱い要綱の一部改正(案)について
④ 職員就業規則及び育児・介護休業規程の改正について
⑤ 任期付職員及び臨時雇用職員に係る就業規則の改正について
①②④⑤については質疑の後、提案通り承認された

報告事項

- ① 日本看護協会理事会報告(11月21日、22日開催)
② 平成30年度事業等日程(案)について

訃報 慎んで哀悼の意を表し、ご冥福をお祈り申し上げます。

看護師 近藤 香織氏(40歳)
公立西知多総合病院(平成29年8月14日永眠)
准看護師 甲斐 秋子氏(63歳)
(平成29年12月1日永眠)

お詫び

協会だより秋号Vol132 愛知県の訪問看護を知ろう!!の
管理者名に誤りがありました。訂正してお詫びいたします。

- 1 テンハート訪問看護ステーション
下久保亮太→正) 佐渡本琢也
2 葵訪問看護ステーション
波切もり子→正) 浪切もり子

平成29年度

三職能合同集会のお知らせ

テーマ:

いのち、くらし、尊厳を守り支える看護 2017

日時: 平成30年2月14日(水) 10:00~15:30(受付9:30) 会場: 愛知県産業労働センター ウインクあいち

- 第1部 職能集会 10:00~12:00 ●講演 高齢者のエンドオブライフを考える
●第2部 合同集会 13:15~15:30 ~在宅で最期を迎えるための課題~

NPO東濃成年後見センター理事長 渡辺 哲雄

表紙の写真を
募集します

看護協会だより134号(春号)表紙等に各施設の新人看護職員集合写真掲載を予定しています、希望される施設は2018年4月6日までに看護協会までデータ送信をお願いします。
写真掲載の承諾確認は各施設でお願い致します。

E-mail: aikan@aioros.ocn.ne.jp

表紙の写真について

尾張名古屋は城でもつ!と言われるほど、尾張地方の人々の心の拠り所となっている「名古屋城」家康の威光を今に伝える城で、大阪城・熊本城と並び日本三名城の一つです。

現在、本丸御殿を新たに再建中でその一部を見学できるようになりました。きれいな檜の大黒柱、きらびやかな襖絵など江戸の匠の技を今に再現しています。天守閣木造復元事業に伴い天守閣は平成30年5月7日より入場禁止になります。名古屋圏にお越しの際はぜひお立ち寄りください。

●会員数 36,775人(平成29年12月31日現在)(保健師601人/助産師1,456人/看護師33,784人/准看護師934人)

発行:公益社団法人愛知県看護協会 名古屋市昭和区円上町26番18号 TEL:052-871-0711 FAX: 052-871-0757 E-mail: aikan@aioros.ocn.ne.jp 発行責任者:鈴木 正子
発行日/平成30年1月31日

編集後記

新年あけましておめでとうございます。
厳しい寒さが続いておりますが、会員の皆さまは
体調を崩したりしていませんか?

広報委員会は、今年も看護の動向や協会活動をよ
りわかりやすく、タイムリーに発信していくよう努
力して参ります。どうぞよろしくお願いいたします。

広報委員 加藤 こずえ